

「英語話題」

今月はまず、9月25日の国連総会でのトランプ大統領のスピーチの内容でいくつか気になる内容を英語と日本語で書いてみます。部分だけを抜き出すと全体のニュアンスと異なった印象となるかもしれませんが、全文を掲載してもくらない内容も多いので。

(全文の英語を見たい方は、<https://www.vox.com/2018/9/25/17901082/trump-un-2018-speech-full-text>)

いつもながらの自画自賛で始まり、出席者からの失笑があった内容が

In less than two years, my administration has accomplished more than almost any administration in the history of our country. America's ... so true. (失笑) Didn't expect that reaction, but that's okay.

America's economy is blooming like never before. Since my election, we've added \$10 trillion in wealth. The stock market is at an all-time high in history, and jobless claims are at a 50-year low. African American, Hispanic American, and Asian American unemployment have all achieved their lowest levels ever recorded. We've added more than 4 million new jobs, including half a million manufacturing jobs.

2年足らずで私の政権は、我が国の歴史においてこれまでの政権よりもより多くの実績を成し遂げている。アメリカの..そうだ真実。(会場からの失笑) この反応は予測していなかったがまあよしとしよう。

アメリカの景気はかつてないほど好調だ。当選してから、10兆ドルの富を増やした。株式市場は市場最高値を記録し、失業保険の受給申請は50年で最低だった。アフリカ系アメリカ人、ヒスパニック系アメリカ人、アジア系アメリカ人の非雇用はかつてないほどの最低水準となった。400万以上の雇用が生まれ、そのうち50万は製造業だ。

その後も暫く自画自賛を続け、それから北朝鮮に触れ、中東のテロやイランとの戦い、中国の不公平な貿易慣行を批判して、中東での暴挙について火薬庫に火を投げ込むような混乱を引き起こしたにも関わらず、正当化。

This year, we took another significant step forward in the Middle East. In recognition of every sovereign state to determine its own capital, I moved the U.S. Embassy in Israel to Jerusalem.

The United States is committed to a future of peace and stability in the region, including peace between the Israelis and the Palestinians. That aim is advanced, not harmed, by acknowledging the obvious facts.

今年、我が政権は中東における偉大な一步を踏み出した。あらゆる主権国家が自国の首都を決定するとの理解の下に私はアメリカ大使館をイスラエルからエルサレムへ移転した。米国はイスラエルとパレスティナ間の平和を含み、その地域の平和と安定の未来にコミットしている。その目的は、明らかな事実を認め害されることなく進んでいる。

その後、国連の存在を否定するかのような次の発言。

America is governed by Americans, We reject the ideology of globalism, and we embrace the doctrine of patriotism.

Around the world, responsible nations must defend against threats to sovereignty not just from global governance, but also from other, new forms of coercion and domination.

アメリカはアメリカ人が統治する。私たちはグローバリズムというイデオロギーを拒否し、愛国心という方針を取り入れる。世界中の責任ある国家は、グローバルガバナンスだけでなく他の新たな形態の強制や支配からも主権への脅威を守る必要がある。

世界的な統治や秩序の形成に向けた方向性を強制や支配の新たな形態と同列で語ることの利己主義的なしせいがないがトランプ大統領の考えの根底にあり続けていることへの大きな不安を感じ得ずにはいられない。

その後も OPEC と OPEC 諸国への批判や、社会主義や共産主義への批判を行って、アメリカの正義を過大評価しての説明が続き、最後の締めくくりは、次の言葉となっている。

So together, let us choose a future of patriotism, prosperity, and pride. Let us choose peace and freedom over domination and defeat. And let us come here to stand for our people and their nations, forever strong, forever sovereign, forever just, and forever thankful for the grace and the goodness and the glory of God.

一緒に、愛国心、繁栄、そして誇りの未来を選択しよう。支配や敗北ではなく、平和と自由を選ぼう。ここに集まり、我らの国民と彼らの国家が、永遠に強く、永遠に主権を維持し、永遠に公正で、永遠に神の恵み、善、栄光に感謝するために立ち上がろう。

アメリカは、内面深くには、エゴや偏見があったとしても、それを理性と良心で押さえ込んで、自由で平等な国家だったはずが、その押さえがトランプ大統領の出現によって緩んできて、あの素晴らしい国だったアメリカに分断と対立が怒ってきている。今度の間選挙でアメリカの良心が再び復活することを強く望みます。

助動詞の用法の追加

今回、少し助動詞を使用する際の現在完了形との組み合わせと慣用表現などについて説明をしてみます。

・助動詞と現在完了形

過去のある時点の動作について、今話し手が指摘しているので、現在完了形は、現在（今）という時に対して1つ古い時（この場合は「過去」）を表現する。

- | | |
|--|----------------------|
| 1. may have + 過去分詞 | 『～だったかもしれない』 |
| He may have been rich. | 「彼は、お金持ちだったかもしれない。」 |
| 2. need not have + 過去分詞 | 「～する必要はなかった（のに）」 |
| He need not have gone there. | 「彼は、そこに行く必要はなかったのに。」 |
| 3. should (ought to) have + 過去分詞 | 「～すべきだったのに。」 |
| He should have gone there. | 「彼は、そこへ行くべきだったのに。」 |
| 4. should not (ought not to) have + 過去分詞 | 「～すべきでなかった（のに）」 |
| He should not have gone there. | 「彼は、そこへ行くべきでなかったのに。」 |

・助動詞の慣用表現

- | | |
|--------------------------------------|------------------------|
| 1. cannot ~ too ... | 「(どんなに) ~してもしすぎることはない」 |
| You cannot be too careful. | 「あなたは、注意してもしすぎることはない。」 |
| 2. may well | 「たぶん～するだろう」 |
| He may well tell a lie. | 「彼は、たぶん嘘をつくだろう。」 |
| She may well run away. | 「彼女が逃げるのももつともだ。」 |
| 3. may as well | 「～するのも悪くはない」 |
| We may as well watch a movie. | 「映画を見るのも悪くない。」 |
| 4. would rather ~ (than ...) | 「(...より) むしろ～したい」 |
| I would rather eat fish (than meet). | 「(肉より) むしろ魚が食べたい。」 |
| 5. would like to ~ | 「～したい」 |
| I would like to go fishing. | 「釣りに行きたい。」 |

今回は、ここまでにします。